令和７年度大阪府立吹田東高等学校
第１回学校運営協議会

日　時 : 令和７年７月７日（月）

場　所 : 大阪府立吹田東高等学校　校長室

・委　員	吉川　正晃	吹田市立千里丘中学校　校長
	金子　久美子	吹田東高等学校　後援会会長
	春貴　勇力	吹田東高等学校　ＰＴＡ会長
	佐伯　　勇	甲南女子大学教授
	飯田　亮真	アレグロ法律事務所
事務局	田尻　　誠	吹田東高等学校　校長
	山室　　裕	吹田東高等学校　教頭
	神谷　朋子	吹田東高等学校　事務長
	村上　明弘	吹田東高等学校　首席
	淵上　陸人	吹田東高等学校　首席
	丸山　　勉	吹田東高等学校　指導教諭

【開会のあいさつ】　大阪府立吹田東高等学校　校長　田尻　誠

【実施要項等の確認】　（資料①参照）

「大阪府立吹田東高等学校運営協議会実施要項」の説明・確認

【会長・副会長選出】

会長　吉川　正晃（千里丘中学校校長）
副会長　金子　久美子（吹田東高等学校後援会会長）

【議　事】

◆報告事項

（１）令和６年度学校経営計画及び学校評価について　（資料②参照）
本校田尻校長より「令和６年度学校経営計画及び学校評価」の説明
昨年度第３回学校運営協議会での報告以降の確定数値について報告

（２）令和７年度学校経営計画について　（資料③参照）
本校田尻校長より「令和７年度学校経営計画」の説明
昨年度第３回学校運営協議会で報告し、承認
その後の修正について報告

（3）進路状況について　（資料④参照）

本校山室教頭より説明

・４年生大学進学者の実数は過去５年間 210 名以上（80%の生徒）をキープしている。
・49 期生は、国公立大学への進学者はいなかったものの、私立大学では関関同立に 38 名、産近甲龍に 150 名が合格
・医療看護系進学者は 34 名で、例年同様卒業生の１割強を占めている。
・毎年数名は希望者がいる就職・公務員が 49 期生は０名であった。
・浪人、進路未定者５名となり、過去数年と比較しても一層減少した。現役志向、４年制大学志向がより強まっていると考えられる。

Q 委員　摂南・神戸学院・追手門・大和の合格者が増えているが、併願数も増加しているのか。
A　　　併願数も増えている。公募推薦が増えている。
Q 委員　公募や指定校等の年内受験と一般や共通テストを受験する割合はどれくらいか。
A　　　共通テストを受験する生徒は減っており、それを利用しての受験はほとんどいない。
Q 委員　早くに進路が決定した生徒の学習意欲を維持するのは難しいのでは。
A　　　３学期は授業が午前のみになり、午後は希望者を対象として一般受験に向けた講習等を行う。
進路が決まった生徒は卒業に向けた取組み等を行う。
委員　指定校で早い時期に合格が決まって、大学から多くの課題が出た。

（4）新入生アンケート結果について　（資料⑤参照）

本校淵上首席より説明

・今年度は４月 11 日に 52 期生 320 名を対象に行った。
・全体としては数年間大きな変化は無く、同じような傾向
・吹田東高校が第一志望である割合は昨年度に引き続き 80%を超えている。
・本校の受験理由としては今年度も新校舎が 20%以上と多く、校風・雰囲気の項目も 19.2%と新校舎と同程度となっている。一方で成績を挙げた生徒は 24.9%で、昨年度より減少し、5 年前より半減している。
「どのような学校と聞いていたか」の回答では「厳しい・まじめ」が減少し、「楽しい・雰囲気が良い」が増加している。
・得意不得意科目については、52 期生は国語・数学が得意な生徒が多く、数学・英語が苦手である生徒が多い傾向が見られた。

Q 委員　「行事が盛ん」と聞いていた回答が増えている。
A　　　公式 SNS で体育祭や文化祭の様子を頻繁に更新している影響が大きいと思われる。

（5）令和７年度教科書選定について　（資料⑥参照）

本校山室教頭より説明

・令和８年度使用教科書を例年と同じ期間、観点（内容・学習）で各教科において選定を行った。

（6）DX ハイスクール事業の継続について

本校淵上首席より説明

・昨年度から引き続き今年度も補助金が出ている。
・総合探究での外部企業等との連携、直島での対話型鑑賞や行事等での広報活動機材で支出

Q 委員　文化祭でのキャッシュレス化の取組みも DX の取組みか。

A　　　それは違う。

【意見聴取事項】

（1）令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について（資料⑦参照）
本校田尻校長より「学校特色枠の作成要領」の説明

・令和10年度以降入試の変更点
①　入試時期の変更→３月上旬
②　第二志望まで受験できる。
③　各校で学校特色枠を作成し、その枠での判定を行う。

・特色枠入試の選抜方法は各学校で定める。（面接・プレゼン・作文等）
・１校あたり３種類まで枠を設定できる。
・募集割合は募集人員に対して10%以上50%以下
・特色枠で合格できなかった場合は一般選抜の判定に移行する。
・全員当日の学力検査全科目を受験する。
・PTA実行委員会での保護者の意見
｛落ち着いた校風を大事にしてほしい。
学力で高校を受験したので特色は判断基準に無かった。
部活動をもっとPRして大事にしてほしい。｝

Q委員　特色枠は１度決めたら継続していくのか、見直すものなのか。
A　　　その都度検討はしていくと思われるがまだ決まっていない。
委員　　大学は総合選抜やスポーツ推薦等が一般選抜と時期が違うので丁寧な選抜ができるが、全てを同じ日程で正確な選抜を行うのは難しいと思う。
委員　　学力的に行きたい学校の特色が合わなかったら他の学校を選択しなければいけないのでは。
委員　　「主体的に考え行動できる生徒」という特色を出すとするならば、中学校でそのような取組みを行っていることが調査書や作文で評価できればいいのでは。
委員　　資格や受賞歴は問わない。意欲や適性等で評価するとあるが、作文等でそれを評価するのは非常に難しい。

【諸連絡】

次回　11月下旬～12月上旬　　〈予定〉